

空とは変化すること
空は無常の世界
常に変化し一定するものがない
凡も空の使者で常に叫び
わたいている。

抱き森へ↑
よさこい峠①

伊吹山へ

その昔、殿様や
貴族に上りて氷は
最高のぜいやく
だったことだ。

氷室まつり

平成3年、原生林の中に
現代の氷室を再現し
毎年、厳冬の2月10日(旧暦
7月)に氷室まつり。氷を
お城下へ搬上する
氷室まつりが盛大に
行なわれている。

わしが定めた
寺川郷談

氷室伝説

江戸時代中期、寺川に赴任して下着役入の
春木次郎八郎則の定めた「寺川郷談」(1752年)に
「手箱山」という御留山に雪屋という山あり
氷室がみえり昔は毎年6月朔日に雪を取り出して
堂に詰め、早稲脚で夜送した。二代藩主山内忠義の
時代(1600年代前半)まで搬上されていたと
記されている。

川底が見える清流
吉野川特有の
青緑色の川石が美しい。
夏はテジロに注意さ
(アツ)

長沢越前門→

県道石鎚公園線

寺川

大瀬登山口から上りていく。
頂上への素道はないし
一直線に登る必要はない。
自分なりにマイペースでじこくは
小休止しながら登ればいい。
そんなことを教えてくれる山道だ。

寺川-吾北高岩間
38kmに1923-37年
かけて森林鉄道が
整備され、国有林材が
運搬されていた。
51年頃から1975
年頃まで65年間に
ほぼ撤去された。
現在もレールや橋台など
往時をしのばせる道標が
残る。

寺川の深山
一帯は国有林
の広大な自然
山から木材を切り出し
て、地産 橋材、
手入をした先人の
努力と辛さの
思いとをさる。
藩政時代は
御留山だった。

アタゴ展示場

吊橋

中登山口

大瀬

白猪谷
キャンプ場

石鎚信仰

木曾の御留山や
大和の大峰山など
ならぶ山岳信仰地。
その歴史は古く
に九世紀の古事記や
万葉集の時代には
すでに信仰の場と
されていた。

谷を渡る
橋を渡れ。注

分岐

平瀬川へ出る。
林道の跡。

ササ深

名野川へ。ピンポイント。

すばらしい
ササとフグの森

キレグシクマ
8月中旬

嶺上山1859m

日大山神社

十三の神社

手箱越

手箱山大権現

寺居からの巡礼の道

キレグシクマ

手箱山三角点より
東へ200mほどの
ササ原の中
氷室跡との説が
ある。

氷室番所跡

アツの天然林の中にある。

針葉樹の森が美しい
美しい森林風景が広がる。

清涼な空気がつくられる。

ふりがえり山御留山他

樹林を抜ける。

美しいササ原。感動ある。

氷献上の区

手箱山1806.2m

凡神の門

抱き森-伊予富一展望

山頂に近づくと
したいに都島が
ぼろぼろと神聖な
気持ちになる。

県境を除くと
豊後県高知県の
最高峰となる。

凡神の門には
修験者がおいて
いたような老木が
ある。

吾北山か?

手 氷箱 室山 物語

